

研究課題名	外傷性膵損傷に対し普遍的に継続可能とするための当院の系統化かつ簡略化した治療戦略アプローチの成績の評価
研究の意義・目的	<p>交通事故や墜落、暴行により生じる外傷性膵損傷の死亡率と合併症発生率は依然高く、適切な診断と治療が良後を大きく左右します。膵損傷による死亡率は約 10～30%と高く、特に低血圧の合併や出血をきたす他の臓器の併存外傷により合併症発生率はさらに高いとされています。この高い死亡率の理由として膵損傷自体が非常にまれであることのほか、診断や治療、そのタイミングが各施設の人員や体制、そして経験に依存していることも挙げられます。</p> <p>当施設では人員や時間帯に可能な限り依存せず、循環動態や臨床所見に応じて主膵管損傷を適切なタイミングで評価するために開腹管理を併用した簡素化された治療戦略を導入、実践しており、この研究の目的は、当施設における膵損傷患者に対する戦略の正確性と安全性を評価し、治療指針や手技の普及につながることです。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2014 年 1 月～2025 年 1 月に大阪公立大学医学部附属病院救命救急センターへ、外傷性膵損傷のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>以下の項目について、診療録より取得させていただきます。これらはすべて日常診療で実施される項目です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 患者基本情報：年齢、性別、診断名、受傷機転 ② 血液ガス、血液検査、超音波検査結果 ③ CT や蘇生手術までの時間経過 ④ 施行された蘇生処置 ⑤ 使用された輸液量、輸血量 ⑥ 治療経過（内視鏡施行の有無、内視鏡的膵管ドレナージ、開腹手術の施行割合、開腹管理日数、ドレナージ留置期間） ⑦ 合併症発症頻度入院中に発生した全合併症（腹腔内出血、感染・膿瘍形成、遅発性仮性膵嚢胞形成） ⑧ 患者の生存・死亡転帰
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科救急医学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】准教授： 内田 健一郎</p>

個人情報の取り扱い	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p>
本研究の利益相反	<p>本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 救命救急センター 担当者氏名：准教授： 内田 健一郎 電話番号：(06) 6645-3987</p>